

スクラム

No. 1 4

広島市立祇園中学校

第2学年通信
平成26年10月7日

さわやかな秋空の下

清々しい感動の体育祭！

直前まで天候が危ぶまれましたが、当日は朝から、大変さわやかな絶好の体育祭日和でした。

青空の下、全校生徒が、開会式の約15分前には集合を完了していました。各組の団長を先頭に入場し、スポーツの祭典の始まりです。

この度の土砂災害で亡くなられた方々に思いを馳せ、黙祷を捧げ半旗にしました。

自分たちがこうして体育祭を行うことができることに感謝の気持ちを持ちながら、おごそかな気持ちで選手宣誓へとうつりました。団長さん達は堂々としていて立派でしたね。(来年はきみたちの番です！)

準備体操としてのラジオ体操は、一糸乱れぬ美しさで、日頃の体育の授業で鍛えられた成果を存分に発揮していました。これほど多くの人数の生徒が、ここまできちんとラジオ体操をやり遂げる姿は見たことがありませんでした。本当に見事でした。



個々の競技も、みんな一生懸命で、どの顔も輝いていました。また、執行部や生徒会の委員さん達は、各係として様々な場面で活躍してくれていました。放送部のみなさんの実況アナウンスも競技を盛り上げてくれていましたね。

準備や片付けなど、ボランティアでやってくれた部活動のみなさん、本当にありがとうございます。目に見えない所での多くの人たちの努力があって、素晴らしい体育祭となりました。



2学年の種目は、2人3脚から順次人数が増え、5人6脚でゴールする「スクラムリレー」でした。

学年練習や予行を経てから、安全面や用具を並べる煩雑さ、勝敗の分かりにくさなどに鑑みて、大幅な競技スタイルの変更を断行しました。

1度の説明と1度の通し練習のみで



本番を迎えたわけですが、さすがでした。何の混乱もなく、大変スムーズに競技をやりきりました。それは、審判・用具・得点・出発・放送などの人たちの温かい協力があったからこそ上手くいったことです。合わせて感謝したいと思います。

朝練習や昼練習など、みんなで心と息を合わせて努力した結果が、よく表れていたと思います。競技にハプニングはつきものです。こけてしまったり、ベルトがほどけたり、いろいろなことが起こりましたが、結果よりも、そこに向けての努力の積み重ねこそが、学級の絆を深めてくれたのではないのでしょうか。

今日からは、早速合唱コンクールに向けての延長暮会が始まりました。

さあ、次は合唱コンクールです！ 体育祭でしっかりと結んだ心を、今度は歌練習に向けて更に大きな学級の宝物を手に入れましょう。

【 10月の目標 】

「最高の行事へDo Our Best!

～練習から全力で～」

※ 保護者の皆様へ 体育祭をご覧になったの感想をお寄せください。(匿名で掲載)

----- 切り取り線 -----

() 組 生徒名 ()